

集い・交わり・語らい・楽しむコミュニティゾーン

# 伯耆しあわせの郷だより

【発行】 伯耆しあわせの郷 26 5581 <http://www.shiawasenosato.jp>  
 指定管理者 旭ビル管理株式会社

四月開講の教室受講生を一斉募集します

旧暦で言うと二月三日から新年ということになります。すでに今年も一ヶ月経っていますが、今一度新年を出発したいものです。

今年も伯耆しあわせの郷では新年度四月開講の教室受講生を二月八日(火)午前九時より一斉に募集いたします。

当施設は倉吉市立の公共施設ですので、利用の公平性を期すため、年度初めの募集については、現在受講中の方、新規の方、共に一斉募集とさせて頂いておられます。どうぞこの点をご理解いただきましてお早めにご応募いただきますようお願いいたします。募集教室の詳細については本誌並びに市報折込にてご案内しています。尚、午後五時三〇分以降八時までのお申込みも今年から対応可能となりました。



寒椿が咲いています

## 【受講生募集】

申し込みは、2月8日(火)から先着順に受け付け、定員になりしだい締め切ります。  
 各教室とも、受講料のほかに材料費などが必要です。

教室名・講師	日時	期間・回数	定員	受講料
初心者の方でも楽しく作れます。 <b>男性のための料理教室</b> 杉本 美智子さん 「白身魚の西京焼き」	2月25日(金) 10:00 ~ 12:00	1回	15名	500円
作って食べて、韓国の食文化が学べます。 <b>韓国料理教室</b> チョン ヨンウック 国際交流員 鄭 然旭 調理師 西尾 春代さん	2月26日(土) 10:00 ~ 13:00 「プデチゲ他」 ----- 2月27日(日) 10:00 ~ 13:00 「プデチゲ他」	の どちらか一回	各28名	500円

2月の特別教室「みそ作り教室」・「ロシア料理教室」・「ちりめん教室」にまだ多少の空きがありますので、お早めにお申し込み下さい！

2月の休館日

7日(月)・14日(月)・21日(月)・28日(月)

# 平成23年度教室受講生募集

2月8日(火)受付開始

受付時間 9:00~20:00

教室名	日時	期間	定員	講師	受講料 (回数)
リニューアル 陶芸教室	第1土・日曜日 午後1時~4時	4月~9月	15名	鳥取県伝統工芸師 黒見焼 矢田彰儀さん	6,000円 (12回)
リニューアル 陶芸教室	第1火・水曜日 午後1時~4時	4月~9月	15名	鳥取県伝統工芸師 黒見焼 矢田彰儀さん	6,000円 (12回)
リニューアル 陶芸教室	第2火・水曜日 午後1時~4時	4月~9月	15名	鳥取県伝統工芸師 黒見焼 矢田彰儀さん	6,000円 (12回)
リニューアル 陶芸教室	第2土・日曜日 午後1時~4時	4月~9月	15名	鳥取県伝統工芸師 黒見焼 矢田彰儀さん	6,000円 (12回)
関金陶芸教室	第2火・水曜日 午後1時~4時	4月~9月	15名	陶芸講師 太田 博さん	6,000円 (12回)
織物教室	毎週水曜日 午後1時~4時	4月~9月	12名	県無形文化財保持者 福井貞子さん	10,000円 (20回)
仏像彫刻教室	第1・3火曜日 午後1時~4時	4月~9月	20名	仏師 仲倉裕朋さん	6,000円 (12回)
竹細工教室	第1・3木曜日 午前10時~午後4時	4月~9月	15名	竹細工講師 盛山信行さん	6,000円 (12回)
パッチワーク教室	隔週木曜日 午後1時~4時	4月~9月	20名	日本手芸普及協会講師科修了 岩本裕美子さん	5,000円 (10回)
レザークラフト教室	毎週火曜日 午前10時~12時	4月~6月	15名	皮革工芸講師 西村都紀世さん	5,000円 (10回)
和布細工教室	第2・4金曜日 午後1時~4時	4月~8月	20名	ちりめん細工講師 明里美也子さん	5,000円 (10回)
絵画教室(油絵)	第1・3金曜日 午後1時~4時	4月~9月	20名	絵画講師 足立純子さん	6,000円 (12回)
絵画教室(油絵)	第2・4金曜日 午後1時~4時	4月~9月	20名	講師 山内 信さん	6,000円 (12回)
書道教室	第1・3水曜日 午後2時~4時	4月~9月	30名	毎日書道会員 水谷 治さん	6,000円 (12回)
日本画教室	第2・4水曜日 午後2時~4時	4月~9月	20名	日本自由画壇常任理事・審査員 中川端月さん	6,000円 (12回)
料理教室	月2回火曜日 午前10時~午後1時	4月~6月	36名	鳥取県調理師 連合会	3,000円 (6回)
きもの着付け教室	第1・3火曜日 午後1時~3時	4月~9月	14名	講師 福井千恵子さん	6,000円 (12回)
きもの着付け教室	第1・3水曜日 午後1時~3時	4月~9月	14名	講師 福井千恵子さん	6,000円 (12回)
文芸教室	第3木曜日 午後1時~3時30分	4月~3月	15名	鳥取県歌人会顧問 池本一郎さん	6,000円 (12回)



煎茶教室	毎週金曜日 午前10時～12時	4月～9月	15名	小笠原流煎茶教授 梅原志津枝さん	10,000円 (20回)
煎茶教室	毎週金曜日 午後1時～3時	4月～9月	15名	小笠原流煎茶教授 梅原志津枝さん	10,000円 (20回)
大人のピアノ教室	月3回水曜日 午前9時30分～11時	4月～9月	10名	ピアノ講師 前根節子さん	7,500円 (15回)
日用英会話教室	第1・3土曜日 午後2時～3時30分	4月～9月	15名	英会話講師 佐藤恭子さん	6,000円 (12回)
リニューアル マレボジャ!韓国語	毎週水曜日 午前10時30分～11時30分	4月～9月	15名	鳥取大学非常勤講師 大谷博美さん	9,000円 (18回)
詩吟教室	第2・4金曜日 午後1時～3時30分	4月～9月	15名	神心流尚道館山陰地区 藤原宗道さん	6,000円 (12回)
エアロビクス教室	毎週水曜日 午前10時15分～11時15分	4月～7月	30名	健康運動実践指導者 河本珠紀さん	7,500円 (15回)
エアロビクス教室	毎週水曜日 午後7時～8時	4月～7月	30名	健康運動実践指導者 河本珠紀さん	7,500円 (15回)
エアロビクス教室	毎週土曜日 午前10時15分～11時15分	4月～7月	30名	文部科学省公認C級スポーツ指導員 中原啓子さん	7,500円 (15回)
3B体操教室	毎週火曜日 午前10時15分～11時45分	4月～8月	25名	(社)日本3B体操協会公認指導者 前田泰子さん	7,500円 (15回)
3B体操教室	毎週木曜日 午前10時15分～11時45分	4月～8月	25名	(社)日本3B体操協会公認指導者 福井留実さん	7,500円 (15回)
3B体操教室	毎週木曜日 午後2時～3時30分	4月～8月	25名	(社)日本3B体操協会公認指導者 福井留実さん	7,500円 (15回)
太極拳教室	毎週金曜日 午前10時15分～11時45分	4月～7月	20名	中国華武功夫中心武術中級教員 岡本真由美さん	7,500円 (15回)
太極拳教室	毎週日曜日 午前10時15分～11時30分	4月～7月	20名	鳥取県武術太極拳連盟 小谷公子さん	7,500円 (15回)
ストレッチ教室	毎週火曜日 午後2時～3時15分	4月～8月	30名	(社)日本3B体操協会公認指導者 前田泰子さん	7,500円 (15回)
パワーヨガ教室	毎週金曜日 午後2時～3時	4月～7月	30名	文部科学省公認C級スポーツ指導員 中原啓子さん	7,500円 (15回)
New パワーヨガ教室	毎週土曜日 午後1時30分～2時30分	4月～7月	30名	文部科学省公認C級スポーツ指導員 中原啓子さん	7,500円 (15回)
民踊教室	第2・4木曜日 午後1時～3時30分	4月～9月	30名	倉吉民踊の会 藪中みゆきさん	6,000円 (12回)
New ルディックウォーク 教室	月2回火曜日 午前10時15分～11時45分	4月～9月	20名	JNWL公認ウォーキングライフマスター 岸田将志さん	6,000円 (12回)

申込みは先着順とし、定員になりしだい締め切ります。

受講料は初回全納です。納入された受講料は原則として返金しません。

一部の教室を除き、受講料のほかに若干の材料費などが必要です。

託児を希望される場合は、教室申込みのときにご相談ください。

( \* 託児料金 : お子様一人につき 1 回 200 円 )

教室は一部変更または中止になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

# 教室作品展のご案内

各教室の作品展を前期・後期に分けて開催します。  
受講生の力作ぞろいです。  
ぜひご覧ください。



写真は以前の様子です。

## 前期

日時 2月11日(金)から  
2月27日(日)まで

時間 9時から20時

場所 伯耆しあわせの郷  
展示ホール

展示内容 書道教室  
仏像彫刻教室  
文芸教室  
日本画教室  
関金陶芸教室

## 後期

日時 3月5日(土)から  
3月21日(月)まで

時間 9時から20時

場所 伯耆しあわせの郷  
展示ホール

展示内容 絵画教室  
織物教室  
陶芸教室  
竹細工教室  
和布細工教室  
レザークラフト教室

## 編集後記

最近、「武士の家計簿」という映画を見に行きました。江戸時代末期、加賀藩の算用役として仕えた猪山家の実話に基づいた物語です。年収の二倍の借金をしてしまった猪山家を主人公の猪山直之は家計簿をつけ始め、借金返済のために、家族に財産を処分させ、子供のお祝いの鯛も紙に書いた鯛を出したというエピソードが描かれています。

武士の命は刀という時代にそるばんを命として子供の教育に熱心に努め、その結果、子供の猪山成之は明治政府の兵站を管理する会計役に重用されました。

今、この物語にスポットが当てられるということは、いろいろな意味があるように思います。「身の丈にあった生活が必要」とか、「変化の時代、各分や権益で生きるのではなく時代が変わっても通用するよう手に職をつけよ」とか見る人によっていろいろ感じるところはあると思います。

ちなみに映画館は満員でしたよ・・・